



森元 清蔵 議員
(清流会・かさいを育む会)

スクールバスの運行計画について



問 令和 8 年 4 月統合の泉小学校の登下校のスクールバスの運行体制は。

答 スクールバス 5 台のうち、中型バス 2 台を直営で、小型バス 2 台、ワゴン車 1 台の 3 台を委託で運行します。

問 直営と委託に分かれた理由は。

答 校区の範囲が広いため多くのバスを走らすこととなりますが、自前のバスを持つと運行時間以外にも活用できて小回りが利くため、直営と委託の両方で運行します。

問 運転手の確保は。

答 運転手は大型 1 種免許が必要です。運転、運行を委託する車両は委託先が運転手を確保します。直営バス 2 台の運転手は、若干名を雇用する予定です。

問 添乗員が常時必要ではないか。

答 バス通学に慣れるまでの間は、教員等の添乗を想定していますが、それ以降は基本的には添乗なしで運行したいと考えています。地域の見守り等の支援も頂きながら、今後進めていきます。

問 スクールバスの運行費用は。

答 年間で 3,600 万円を見込んでいます。

問 今後の小中学校の統合後のスクールバスの運行計画は。

答 統合中学校は、令和 10 年 4 月からスクールバスを運行します。自宅から中学校までの距離が 4km 以上の生徒が対象です。小学校は、統合しない小学校も含めて全小学校で、令和 9 年度より 2km 以上の児童を対象にスクールバスを運行する計画です。

問 市全体のスクールバス運行体制は。

答 直営と委託の両方を合わせた運行を考えています。車両は原則購入し、直営の場合は市が運転手を採用します。

問 スクールバスの有効利用は。

答 通学時間外の午前 9 時から午後 2 時頃までは、小学校や中学校の校外学習やこども園の遠足などに活用していきたいと考えています。



下江 一将 議員
(清流会・かさいを育む会)

子供を預けやすい環境づくりについて



ファミリー・サポート・センター事業

問 会員数が微減している。制度や利用の流れが分かりにくいとの声があるが、ホームページ等の改善はできないか。

答 協力会員の減少によりホームページへの詳細な掲載を中止し、利用の際の面会で丁寧に説明しています。今後は掲載を検討するとともに、窓口での説明も積極的に実施したいと考えます。

問 オンラインフォームでの予約システムを導入しては。

答 保護者世代には SNS の活用が非常に有効と考えますの

で、今後検討していきます。

問 利用に対する不安軽減のため、協力会員の匿名プロフィールを公開できないか。

答 相互支援のボランティア事業として、サポートを受けたい方、協力したい方とも登録をお願いしていることから、公開は趣旨に反することや、会員登録をためられる可能性があると考えます。職員によるマッチングや事前面会を通じて、安心して利用ができるよう努めています。

病児・病後児保育

問 定員 5 名で対応できているか。

答 感染流行期は定員を超える利用希望もありますが、年間では定員内に収まっています。

問 利用を断るケースを例示できないか。

答 同じ疾患でも重症であればお預かりできないなど、かえって保護者の混乱を招く恐れがあります。丁寧な説明や事前登録を通じ、スムーズに利用できるような PR に努めます。

こども園の当日預かり

問 当日預かりはどの程度対応が可能か。

答 公立こども園ではできるだけ早めの連絡をお願いしていますが、緊急時は当日の申入れもできる限り受け入れています。

最適な支援サービスの提供に向けて

問 分かりやすい情報発信が必要ではないか。

答 SNS の活用のほか、訪問や健診の状況等により必要なサービスをお勧めするなど、子育て支援情報を分かりやすく届け、必要なサービスを気兼ねなく利用できるような PR 方法を検討します。